



Action to 2030 **まみのチカラがふくしまを創る**



キビタン®福島県

NPO × 若者
= 創る!!

令和5年度 福島特定原子力施設地域振興交付金事業

チャレンジインターンシップ事業 事業報告書

主催  **福島県**

共催  **コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社**
BOTTLERS JAPAN INC.

NPO × 若者 = 地創る!!



▶ごあいさつ.....	P1
▶事業概要	P2
▶受入れ団体	P3
▶受入れ団体・インターン生紹介	P4
▶インターン生アンケート	P30
▶受入れ団体アンケート	P32
▶ホームページのご案内.....	P34

ごあいさつ

本事業は、若者がNPOでのインターンシップ活動を通じて、地域課題への理解を深め、福島への愛着を育み若者の県内定着を促進するとともに、NPOの事業の活性化に繋げていただくことを目的に実施しております。

今年度は、新型コロナウイルス5類移行に伴い行動制限がない中でインターン活動を実施できました。参加されたインターン生の皆さんは、NPOの活動を通じて、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

受け入れていただいたNPOの皆さんの、丁寧かつ熱心な御指導に心より敬意と御礼を申し上げます。

また、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社には、事業全般にわたり、参加者の皆さんが楽しく生き生きと活動できるよう、厚い御支援をいただきましたことに併せて感謝を申し上げます。

県では、引き続き、NPOや企業等の多様な主体との協働を推進し、復興や地域課題の解決に向け取り組んでまいりますので、今後とも関係する皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

福島県企画調整部文化スポーツ局
局長 永田 嗣昭

コカ・コーラ ボトラーズジャパンでは、「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」というミッションのもと、本業を通じて地域が抱える社会課題に対して、地域のみなさまとの協働による課題解決に向けた取り組みを各地で進めております。

福島県では、社会で活躍する若者の育成と地域の活性化を目的とした本事業への関わりを2016年より開始、地域・行政・企業連携の新たな取り組みとして進めてきました。

今年も福島県をはじめ関係者のみなさまと年間をとおして企画調整を図り、学生一人ひとりの表情やメッセージからも、たいへん有意義な体験であったと感じております。

コカ・コーラ ボトラーズジャパンでは、今後もみなさまと協力しながら、より豊かでハッピーなひとときを体感できる世界の実現を目指してまいります。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
サステナビリティ戦略統括部 統括部長 計良 裕一

事業概要

「チャレンジインターンシップ事業」は、福島県在住や本県出身または本県に関心がある学生(高校生、短大生、大学生、大学院生、専門学校生)が福島県内のNPO団体の活動に参加し、福島県の復興や法人の活動、地域の課題解決などについて学び、体験することで、福島への愛着心を育み、若者の県内への定着や地域活動への参画を促進することを目的としています。

詳しくは

<https://f-intern.f-saposen.jp>



受入NPO団体募集
4月6日(木)~4月20日(木)

インターン生募集
5月11日(木)~5月31日(水)

マッチング

インターン生及び受入れNPO団体決定



3者オリエンテーション(Zoom)
6月26日(月)~7月11日(火)



開講式 会場・オンライン(Zoom)
7月22日(土)郡山商工会議所会館

インターンシップ実施
7月23日(日)~9月30日(土)

インターン生情報交換会(交流会)
9月9日(土)郡山市音楽・文化交流館(ミューカルがくと館)

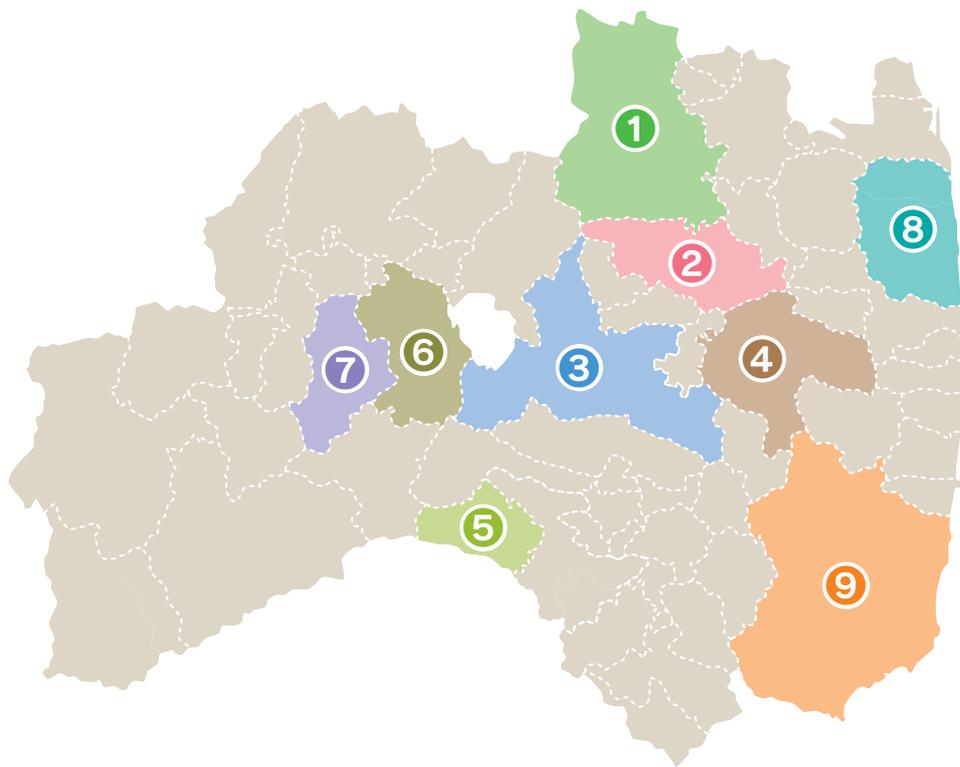
メンター情報交換会 オンライン(Zoom)
9月20日(水)



活動成果報告会・閉講式
10月28日(土)郡山商工会議所会館



受入れ団体



① 福島市	P4	NPO法人 御倉町かいわいまちづくり協議会	④ 田村市	P20	NPO法人 くらスタ	
	P5	特定非営利活動法人 青空保育たけの子		⑤ 西郷村	P21	特定非営利活動法人 わくわく
	P6	特定非営利活動法人 ビーンズふくしま			⑥ 会津若松市	P22
	P8	NPO法人 0073(おおなみ)		P23		特定非営利活動法人 環境地域文化エナジー
	P10	特定非営利活動法人 ふくしまウォームネット		⑦ 会津美里町	P24	特定非営利活動法人 会津自然塾
P11	特定非営利活動法人 福島就労支援センター	⑧ 南相馬市	P25		特定非営利活動法人 南相馬サイエンスラボ	
② 二本松市	P12		特定非営利活動法人 あだたら青い空	⑨ いわき市	P27	特定非営利活動法人 ツークンフトロカール
	P14	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会	P28		特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター	
③ 郡山市	P16	認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ	P29	一般社団法人 Teco		
	P17	特定非営利活動法人 ココネット・ママ				
	P18	特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティチママン				
	P19	特定非営利活動法人 こおりやま子ども若者ネットワーク				



NPO法人 御倉町かいわいまちづくり協議会

所在地 福島市柳町3番25号

URL https://www.instagram.com/oguratei_official/



主な活動 県内外の広範囲の年齢層の方々に対して、御倉邸での催し、おぐら茶屋の運営サービスを通して魅力ある場所としてPRする事業を行っています。

受入れ団体コメント

初めてのインターンシップ受入れをしました。会員の高齢化の進んだ中に、若い感性の風を吹かせていただき大いに刺激を受けました。今後の活動の参考にさせていただきます。来て下さったインターンシップのお二人にも今回のインターンシップの活動が少しでもお役に立てれば嬉しく思います。



インターン生紹介



カシワギ コウタ
柏木 皓太 さん
福島工業高等学校3年/
福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計7回のインターン活動で、1回目は御倉邸の歴史を学び、2・5・6回目は御倉邸とおぐら茶屋の管理活動、3回目は事務、4回目は福島市の歴史を学び、7回目は御倉邸の夏のイベントの手伝いなどを行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動で人と触れ合うことの大切さを学びました。普段ではなかなか体験のできない他年代の方や多国籍の方々とは交流していく中で、自分の思いを他の人に分かりやすく伝えることの難しさを知り、自分の表現力を鍛える充実した活動になりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

来年から社会人として働き始めるので、同じ職場の人と会話をしたり、自分の思ったことを伝える場面があると思います。今回の充実した活動を通して学んだことを活かして、責任ある社会人として社会を支えていきたいと考えています。



インターン生紹介



サクマ カナミ
佐久間 佳奈美 さん
山形大学4年/
二本松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 御倉邸の沿革を学習
- 来館者案内
- 街歩き
- 事務作業
- 開館準備

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

歴史的建造物を残して活用するためには、地域住民に建物の有用性や歴史的価値を知ってもらう必要があることを学びました。また、御倉邸は、役宅の歴史だけでなく、御倉町史や福島市史など地域の歴史を学ぶ場になり得ることを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

この先、歴史的建造物を残していくためには、管理者だけでなく地域住民も巻き込んで残す意味や活用方法を考える必要があるのではないかと考えました。一つの場所の魅力を伝えるために、人に興味を持ってもらえる広報活動を探っていきたいです。





特定非営利活動法人 青空保育たけの子

所在地 福島市郷野目字仲46-1

URL <https://www.takenoko-aozora.org/>



主な活動 子どもたちが自然の中で豊かに遊び活動し、人として大切な五感を磨き生きる力を育みその子らしく成長していくことを見守り、その子どもたちを取り巻く大人も子どもと共に成長することのできる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

受入れ団体コメント 高校生の二人が本当によく園児たちと遊んでくれたことが何よりよかったです。時には園児たちの要求がわずらわしいということもあったでしょうが、二人ともそんなそぶりは全く見せませんでした。一度、園児が怒りにまかせて本を破いてしまった時があったのですが、「ちゃんと見てなくて」と謝ってくれました。素直に正直に報告してくれて、えらいなと思いました。



インターン生紹介



ホンダ ミフウ
本多 美楓 さん
福島南高等学校2年 / 伊達市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
主に子どもたちと遊びました。施設の中で遊ぶ時は本の読み聞かせをしたり、カルタやトランプなどのカードゲームをしたりしました。外で遊ぶ時は、周りに配慮しながら安全に活動することができました。施設のお手伝いも少ししました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
子どもと接することの大変さをこの活動を通して改めて知ることができました。今まで自分が知らなかった園と保護者の関わりが時代によって変わっていたことがすごいと感じました。小さい子どもきちんと自分の意志があることに驚きました。



Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

日常生活や将来のために今回学んだことを活かしたいです。また、自分の住んでいる地域活動などに少しでも活かせるようにしたいと思います。このインターンシップでの経験をこれからの自分自身の成長に活かしたいです。



インターン生紹介



ミヤザワ ナツキ
宮澤 夏希 さん
福島南高等学校2年 / 福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
● 子どものお世話

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
● 子どもと関わる大変さ

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

子どもと関わる大変さを知ることができました。親にここまで育ててくれたことを感謝しながら生活していきたいです。





特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

所在地 福島市霞町9-18

URL <https://www.beans-fukushima.or.jp/>



主な活動

生きづらさを抱えた子ども・若者の支援を行っています。私たちは、それぞれに必要な、安心できる地域の居場所をつくり、そこに集う「人と人」、そして「人と地域」との架け橋を繋いでいきます。

受入れ団体コメント

今年度参加してくれた4名の学生の皆さん、一人ひとりが目的意識をしっかり持って、楽しくいきいきと子どもたちと関わってくれている姿がとっても印象的でした。私たちもインターン生の皆さんや子どもたちの笑顔に触れながら、新たな視点をたくさんいただくことができました。これからのみなさんの未来にとって、少しでも実りあるインターンになっていればとっても嬉しいです！またいつでも遊びに来てくださいね！！



インターン生紹介



コバヤシ ハナノ
小林 花乃さん
東北文化学園大学2年 / 福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計4回のインターン活動で、1回目は子ども食堂の手伝いや子どもたちに勉強を教えました。2・3回目はフリースクールに通う子どもたちと遊んだり、コミュニケーションをとりました。4回目は多くの方々と協力しながら夏祭りの手伝いをしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動で一人ひとりに合わせた寄り添い方の難しさを学びました。子どもたちと接するのが初めてで、どのような距離感で話すのが良いのかを子ども目線で考え、苦勞しながらも少しずつ自然に接することができ、接し方について学ぶ良い経験になりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

将来は子どもからお年寄りまで、幅広い年代の方々と接する仕事に就きたいと考えているため、今回の活動で学んだ相手との接し方を踏まえ、誰とでも良いコミュニケーションをとれるよう鍛え、実習や仕事に活かしていきたいです。



インターン生紹介



サトウ ナナミ
佐藤 那奈実さん
福島東高等学校2年 / 福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

1、2回目は小学生の子どもたちと、3回目は未就学児の子どもたちと関わる活動をしました。小学生の子どもたちには勉強を教えたり、一緒に料理をしたり、未就学児の子どもたちとは遊んだりしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子どもたちとの関わり方を学べました。どうすれば仲良くなれるか、心を開いてくれるのかなどを考えながら取り組みました。また、保護者の方々のお話しも聞くことができ、新しい知識を得ることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回学んだことは、自分の将来の夢である教師に近づくために活かしていきます。教師という職業について調べるだけでは分からないことを実際に経験できたので、活かせる場面が来た時に対応できるようにしたいです。



インターン生紹介



ワタナベ ミノリ
渡邊 実莉 さん

福島東高等学校2年 / 福島市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 子どもたちと一緒に勉強をして、一緒に遊んだり、料理をする活動。
- 乳幼児のお子さんをもつお母さんと一緒に食事についての講座を聞く活動。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- 子どもたちは皆個性があって、成長にも個人差があるため、慌てず温かく見守ることが大切という気づきがありました。
- 子どもたちは色々なことに興味を持つため、火や怪我に注意しなければならないことを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

教育系の進路を考えているので、子どもたちとの触れ合い方や、子育てに関しての大切なこと、必要とすることを活かして子育て・子どもに寄り添った先生になれるよう、頑張っていきたいです。

インターン生紹介



スズキ チヒロ
鈴木 千尋 さん

東北福祉大学3年 / 福島市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計4回の活動で、1回目は子ども食堂、2・3回目はフリースクール、4回目はひきこもり支援を行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

対象の年齢が様々で、それぞれの関わり方の違いや、見えないニーズが隠れていること、居場所のあり方などの学びがありました。また、自分の得意な年齢、関わり方などを学ぶことができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

将来、社会福祉士として相談援助の仕事をしたいと考えています。専門的な知識と今回の現場での学びを一体的に分析し、どのような支援をしていくべきか考えていきたいです。



NPO法人 0073(おおなみ)

所在地 福島市大波字古戸7-3

URL <https://www.npo0073.net/> <https://imoca.jp/>



主な活動 原子力災害で風評被害を被った会員に対して、福島復興を支援する会員を募り、生産者の顔が見える農作物を会員間で取引できる仕組みを委託事業として行うとともに、地域活性化のための各種事業を行っています。

受入れ団体コメント

風評による被害が多かった地域が、どのような方法で復興してきたのかを伝えたく、参加しました。ある日突然、古民家カフェがオープンしたわけではなく、その前までどのようなことに取り組んできた結果、いまがあるということを知ってもらえればありがたいです。



インターン生紹介



フルカワ ヒロミ
古川 浩実 さん

郡山女子大学附属高等学校2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

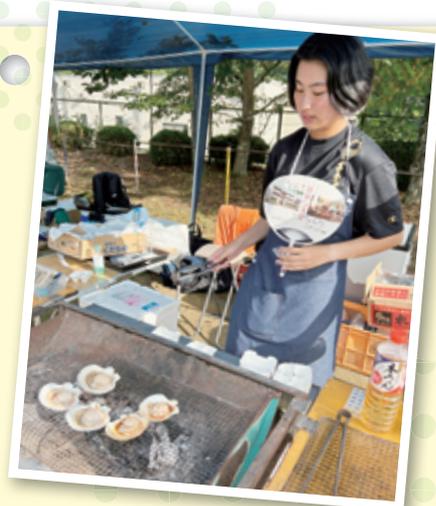
計3回のインターン活動で、1回目と3回目は出店のお手伝い、2回目は古民家カフェimocaでサービス業を行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動で、食を通して人々を笑顔にすることはとても嬉しいことが改めて分かりました。マスク着用が自由になり、お客様のお顔を間近で見て、笑顔で商品を買ったり、食べたりしているのがとても嬉しく、「作って良かった、活動して良かった」と思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来カフェを開こうと思っています。その時に、食を通して人々を笑顔にすることは自分にとっても、相手にとっても嬉しいということを伝えていきたいです。



インターン生紹介



タカハシ ナル 高橋 那瑠さん

福島南高等学校3年／福島市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

4日間のインターン活動で、1日目は作業場見学と料理の説明、2日目から4日目は、実際にお客様へ料理を提供するお手伝いをしました。接客の方法も学びました。主に飲み物とデザートの盛り付けをしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気付きがありましたか

お店で活動することが初めてだったので、何もかもが新鮮で貴重な体験ができました。料理を提供する際に気をつけなければならないことや、丁寧に扱うことを心がけるようにしました。清潔さや見た目の綺麗さを大事にして安心して食べてほしいと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回のインターンシップ活動で、人との関わり方や、学生と社会人での違う考え方を学んだので、この経験は将来実際に自分が働く立場になった時に活かされると思います。人への思いやりを大切に生活していきたいです。

インターン生紹介



ミワ 三輪 ころろさん

福島南高等学校3年／福島市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計4回のインターン活動で、1回目は工場ですつまいものスイーツのパッキング作業、2～4回目は古民家カフェ imocaさんの運営のお手伝いをしました。お皿洗いや接客、スイーツの盛り付けや店内のお掃除を行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気付きがありましたか

今回の活動でたくさんの人と関わり、コミュニケーションの大切さや自分で動く積極性の重要性を学びました。また、興味があった食の分野に関して実際の現場で学ぶことができ、とても充実した時間を過ごさせていただきました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来パティシエになりたいので、このインターンシップで活動させていただいた貴重な体験を活かし、今後の人生に役立てていきたいと思っています。



特定非営利活動法人 ふくしまウォームネット

所在地 福島市北五老内町5-23

URL <https://www.morinohana.jp/>



主な活動

「共感、共有、協同」を基本とし、幅広いネットワークの中で、一人ひとりの状況に合わせた自立と安心できる生活を一緒に考えていく事を支援の柱とする経営理念で事業を行っています。

受入れ団体コメント

この度、初めてインターンシップ事業に参加させていただきました。インターン生の二瓶さんは自分の目標をしっかりと持って、インターンでの活動を自分の将来にどう活用できるか考えながら取り組んでくださいました。何事にも真摯に向かう姿勢は、職員や利用者も良い刺激を受けました。私どもも良い経験をさせていただきました。



インターン生紹介



ニヘイ アキ
二瓶 明希 さん

福島県立医科大学3年 / 会津若松市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

利用者の方とともに、他の事業所への取材や露店販売、外部の清掃作業を行ったり、商品となる木片の検品・やすり掛けの作業や、菓子の製造をしたりと、様々な活動を実施しました。作業外の時間には、利用者の皆様とお話をして交流をしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

スタッフの皆様が温かい雰囲気をつくり、声をかけ合って活動をしていることが、利用者にとって安心して働ける環境づくりに繋がっていると感じました。利用者同士も声をかけ合って、互いを尊重して作業を実施していることを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回の活動を通して、就労支援の重要性や人と直接関わる仕事の楽しさを実感することができました。この経験を糧とし、自分は将来どのような形で地域社会の役に立つことができるのか、大学生活を通して考えていきたいと思います。



特定非営利活動法人 福島就労支援センター

所在地 福島市宮代字宝田前2-4

URL <https://npo-fssc.org/index.html>



主な活動

就労支援活動に関する事業、地域活性化につながる事業として、パソコン教室の運営、親子ポッチャ運動教室、原発避難者との農業・運動交流会、貧困を抱える子どもたちへの学習支援を行っています。

受入れ団体 コメント

短い期間でしたが、インターンに参加してくれてありがとうございました。高校生でNPOにインターンをしてみようとするチャレンジ精神をまず賞賛します。何事にも真剣に取り組み目の前の人に真摯に向き合う姿がとても印象的でした。愛華さん、これからも新たな道で新しいことにたくさんチャレンジしてください。大学受験、がんばってね！



インターン生紹介



ヒライ アイカ
平井 愛華 さん

福島東高等学校3年／福島市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計5回のインターン活動で、1・2回目は親子運動教室ポッチャ交流、3回目はNPO、ポッチャ、農業についての勉強、4・5回目は地域住民の方々と一緒に農業やバーベキューを行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

幅広い年代の方々とお話ししたり、ポッチャなどの運動をしたりして人とのコミュニケーションの大切さを学びました。近年、地域の人との関わりが減りつつあるので今回の活動を通して地域の方の温かさを感じることができ、充実した活動になりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

以前から地域活性化に携わりたいと考えていて、今回の活動で地域の方々と実際に交流してより「地域社会」に興味を持ったので、今後大学生になったらインターンで学んだことを活かし、もっと現地に出向いて福島を活性化する活動を行っていきたいと思いました。



特定非営利活動法人 あだたら青い空

所在地 二本松市岳温泉二丁目20番地11

URL <https://www.adatara-aoisora.com/>



主な活動 こども食堂ハラクッチーをはじめ、被災者支援活動、不登校の子どもと保護者の支援、子どもの自然体験活動としての森のようちえんなどを実施しています。

毎年「こども食堂」事業で参加させていただいています。それは、学生の皆さんに「こども食堂」や「NPO法人」について理解していただきたいからです。

受入れ団体コメント 今回参加していただいた学生さんも、皆さんとても積極的に学び行動する姿勢があり、「こども食堂」の利用者との交流も積極的に行っていただきました。受入れ側も利用者さんも、とても感謝しています。こうした取り組みが、参加した学生さんの進路活動や、また今後の福島県内でのNPO法人の活動の発展に寄与するものと期待しております。



インターン生紹介



セキネ アヤナ
関根 彩奈さん
尚志高等学校3年 / 郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 子どもたちと協力してご飯作り
- 子どもたちと食後に遊ぶ
- こども食堂の準備と後片付け

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動を通して、子どもたちとのコミュニケーションのとり方とその難しさを学びました。私自身、子どもが好きでコミュニケーションをとるのは得意だと思っていたのですが、今回のインターンシップ内ではなかなか話しかけられず、難しいなと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回学んだことは、今後大学で小児の作業療法士になるために活かしていきたいと思っています。一人ひとり好きな遊びが違って、その子にはどのような接し方が合うのだろう？と、とても考えさせられる機会になりました。このことも大いに活かしていきたいです。



インターン生紹介



フルカワ ユナ
古川 優奈 さん

安達高等学校3年／福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

こども食堂のお手伝いをしました。子どもをメインとした活動なので子どもが調理している所の補助に回りました。余った時間では子どもと触れ合いました。その時間では折り紙やバドミントンなどで遊びました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子どもは好奇心旺盛だから色々なことに挑戦したがるということに気づきました。補助だからこそ考えて行動する力をつけられたような気がします。自分の行動に対して保護者から感謝されたときに喜びとやりがいを感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

このインターンシップに参加し、考えて行動する力や様々な年代の方々とのコミュニケーション力を身につけられたと思うので社会に出てから活かしたいです。普段お家で作れないような物を作らせてもらったので家族に作ってあげたいと思います。そして調理の楽しさにも気づくことができました。

インターン生紹介



サガラ ユナ
相良 優奈 さん

郡山萌世高等学校3年／本宮市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

こども食堂と地域ふれあい食堂の活動に参加しました。参加者全員で調理、片付けを行い、食後はそれぞれ自由に過ごしました。私は塗り絵やブロックなどで遊びました。調理や遊びではサポートをするなど子どもたちと積極的に交流しました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動が子どもだけでなく大人の交流の場や楽しみともなっていることがわかりました。幅広い世代や職業の方と関わり貴重な話を聞くことができました。積極的に行動し周りを見て動くことができるようになったと思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

将来は幼稚園教諭になり子どもたちと関わっていくことが目標です。そのため、こども食堂や地域ふれあい食堂での子どもたちとの接し方を活かしたいです。手伝ってばかりではなく見守りながら必要な場面ではサポートするなど、活かしていこうと思います。



特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会

所在地 二本松市新生町490

URL <http://www.farm-n.jp/>



主な活動

福島県内54の農家が協力し、風評被害対策などに取り組んでいます。野菜や果物、加工品の生産、ネットショップによる農産物の販売のほか、農業体験も行っています。

受入れ団体コメント

今年の夏は猛暑となり、屋外での農作業は辛いこともあったかと思いますが、インターン生の3人とも楽しんで活動している姿が印象的でした。これから先も皆さんの選択肢は無限にあり、様々な決断を迫られるかと思います。インターン生として活動した経験を、いい決断に活かせるよう、この経験を忘れずにいてください。

私たちにとっても素晴らしい経験になりました。学生を受け入れることで、忘れかけていた仕事に対する姿勢や緊張感などを改めて意識しました。ありがとうございました。



インターン生紹介



ホヅミ カナ
穂積 伽南さん

安達高等学校3年／二本松市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

野菜の収穫や袋詰めを中心に様々な活動をさせていただきました。また、ポップ作成やパッケージ作りなど想像以上の仕事があり、気候や天候に左右されながらも、作業を続けることの過酷さを体感しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

受入れ団体さんがどのように風評被害を乗り越えているかを学ぶことができました。「顔の見える関係に風評被害は無し」というお言葉を聞き、自ら東京の上野に赴き野菜を対面で販売することで安全性を伝えていると知り、自ら動くという行動力に感銘を受けました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

東日本大震災で、たくさんの被害を受けた農業ですが、その時にできることを行い、自ら行動する行動力を見習い、日々の生活で考えるだけでなく行動に移せるようにしたいです。また「努力すれば道は開ける」という言葉が胸に響き、今後の受験、進路に活かしたいです。

インターン生紹介



ソエタ ワカナ
添田 若来 さん

安達高等学校3年／二本松市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計4回のインターン活動で、野菜の収穫やキュウリの葉刈き、野菜の選別や計量からの袋詰めなどの農作業をしました。また、イベントの準備やポップ作成、パッケージ作成など様々なお仕事を体験させていただきました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

スタッフの方々から様々なお話を伺った中で、風評被害対策として毎週上野まで出向き、現地の消費者と対面した上で販売をしているというお話しが特に印象に残りました。問題解決のためには受け身にならず、自ら行動することが大切だということ学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今後も進学や就職など大きな壁にぶつかることがあると思いますが、地道に努力を重ねることを忘れず、自ら行動することの大切さを思い出し、問題解決に活かしていきたいと思います。

インターン生紹介



ヤマダ マオ
山田 舞桜 さん

安達高等学校1年／福島市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

インターンシップではキュウリやナス、ツルムラサキ、オクラ、トウガラシなどの収穫・袋詰めをしました。そして商品に商品名の書かれたシールを貼ったりポップを作成したり、チラシの枚数を数え、そのチラシを配る作業を行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動で野菜をちゃんと育てることの大切さ、そして収穫する時のコツを学びました。農家というのは自分が思っていた以上に大変な仕事であり、それを乗り越えて立派な野菜を育てて収穫をするということはとても大事なことだなと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

将来、農家になりたいと思っているので、実際に野菜を育てるとなった時に水の量や植える場所、季節を全て把握して、収穫をする時は大きくなりすぎたり小さくなりすぎたりしないように気をつけながら、ちゃんとした野菜を育てられるように頑張りたいと思います。



認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ

所在地 郡山市昭和二丁目2番7号

URL <https://npocd.jp/>



主な活動 いわゆるニートひきこもり経験者の社会参加・就労自立支援の活動を行っています。活動内容として①地元企業での就労体験・ジョブトレーニング、②就労準備の講座、③交流会・居場所活動、④保護者会、⑤一般向け学習会(セミナー)を実施しています。

受入れ団体コメント

インターン生が積極的に参加してくださり、非常に充実したインターンとなりました。自立に悩む若者らの社会参加や就労支援を行っている当法人の存在意義や活動の背景についても良く理解していただき、「こんな活動もいいかも」といったアイデアも出していただきました。また、自分でできることはないか自発的に動かれていたのも良かったです。今後の進路や職業人生に活かしていただければ幸いです。ありがとうございました。



インターン生紹介



コバリ カエデ
小針 楓 さん
国際ビジネス公務員大学校1年/
玉川村出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

インターンシップの活動では、事務作業やピーマンの選果作業、事務所内での軽作業ワーク(コワーク)、就労準備講座に参加しました。様々な年代の人と、コミュニケーションをとりながら活動しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

コミュニケーション能力の大切さや自分から積極的に行動する重要性を改めて知ることができました。多くの人と話したことで、自分のコミュニケーション力も上がったと感じました。また、自分の考えの幅も広げることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

初めて会った人に対して、消極的にならず積極的に話していこうと思います。公務員はコミュニケーション能力が必須なので、今回の経験は将来にとっても役立つと感じました。NPO法人に、何かしらで関わることができるような仕事に就きたいです。



特定非営利活動法人 ココネット・ママ

所在地 郡山市鳴神1-138-1

URL <http://www.coconetmamu.net/>



主な活動 学童保育室の運営を中心に託児事業、イベント、郡山市ファミリーサポートセンター運営、子育て講座の企画などを行っています。

受入れ団体 コメント

学童室で子どもたちとの触れ合いを体験してもらいました。インターン生が一人だったので緊張の日々だったと思いますが、子どもの様子をよく見ていて、安全面へ配慮したり子どもへの適切な言葉がけをしていて、子どもたちとしっかり向き合おうという気持ちが伝わってきました。今後、子どもだけでなく保護者との関わりも経験しながら子育て家庭に寄り添い、支えられる人材になってほしいです。



インターン生紹介



ヨシイケ カノン
吉池 花音 さん

郡山女子大学附属高等学校1年/
山形県米沢市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 小学生と折り紙やおはじきなどで遊んだり、お話をしたりする
- 小学生の引率
- 学童行事準備のお手伝い
- 一緒に映画を観る
- できないことのお手伝い
- 一緒に昼食を食べる
- 公園に行き一緒に遊ぶ

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- 高学年の子より低学年の子の方がお姉さんの子もいる
- 一人ひとりがとても素直
- 指導者さんの観察力に驚かされた
- コミュニケーション能力が大事
- 笑顔でいることが大切

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

小さな子と向き合う難しさを学ぶことができました。コミュニケーション能力をもっと高めていけるように、経験したことを取り入れて、これからの生活で小さな子と接する機会があれば活かしていきたいと思います。



特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティプチママン

所在地 郡山市富田町字大徳南2-23

URL <https://petitmaman.or.jp/>



主な活動 郡山地域を中心に子育て支援をしている団体で、常設ひろばでの親子活動の他、出張での各種活動を行っています。

受入れ団体 コメント

渡邊彩花さん、インターンお疲れ様でした。

おっとりして見えるけど淡々と仕事をこなしてくれる彩花さん。

色々なお願いにも優しい笑顔で答えてくれるので、こちらも穏やかな気持ちになりました。

暑い中、今までにないくらい多くの日数プチママンに来てくれてありがとうございました。

プチママンで活動した経験が、彩花さんの今後に関われば何かお役に立てれば嬉しいです。

これからも頑張ってください。



インターン生紹介



ワタナベ アヤカ
渡邊 彩花 さん

郡山女子大学附属高等学校2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 掃除 ● イベント準備、補助、片付け ● 昼食準備、片付け
- 利用者さんとコミュニケーションをとる ● 工作 ● 消毒

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- 家族のあり方や人との接し方 ● 食育や自給自足について ● 食事の時間が情報交換の場になること
- NPO法人がどのように活動しているのか ● 子どもたちは何をやるにしてもそれぞれの個性が出るということ

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来、栄養士になりたいと考えているので、今回のインターンシップで学んだ食の大切さや人とのコミュニケーションのとり方を今後の栄養士になるための勉強や、栄養士になってからの食事をより良いものにするための仕事に活かしていきたいです。





特定非営利活動法人 こおりやま子ども若者ネットワーク

所在地 郡山市神明町16-8

URL <https://kowakanet.localinfo.jp/>



主な活動

郡山で「子ども・若者」をテーマに活動しています。育ってきた環境や背景に関わらず、全ての子ども・若者の「参加」「自己実現」「多様性」を尊ぶ地域社会を目指しています。

受入れ団体コメント

インターン生の中川さんには、私たちの強みである「ネットワーク」をフルに活かし、市民ボランティアの育成や、就労支援団体へのインタビュー、ひきこもりに関する相談の現場など、多岐にわたって活動してもらいました。「やりきった!」というインターン生の表情と比例して、関わった人々の笑顔の数も増えていったのが印象的でした。将来、自分で活動の場をつくりたいという夢を持っているとのことなので、楽しみにしています!



インターン生紹介



ナカガワ リョウタ
中川 遼大 さん
福島大学1年 / 郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 就労移行支援の事業所への取材
- 引きこもり相談者の受け入れ
- 災害ソーシャルワーク研修 ● インタビュー記事作成

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- 礼儀作法の大事さやありがたみ
- 人との新たな繋がり

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

- 社会生活(礼儀など)
- 今後の大学生活
- 人脈が増えた時など





NPO法人 くらスタ

所在地 田村市船引町船引字五升車37

URL <http://tamura-ouentai.org/>



主な活動 東日本大震災を契機に組織された「田村市復興応援隊(平成25年～)」の運営を主に、被災地田村市都路町を中心に復興支援・地域振興・居場所作りなどの活動を行っています。

受入れ団体コメント 積極的な姿勢に感激!
井上君の地元に応援はありながら、今回初めてどのような活動を行っているのか見て貰える機会に恵まれました。
慣れない環境、初めて接する大人たちを相手にしても、決して臆することなく果敢に知ろうとしてくれたりと、自ら未経験のアクションに挑戦してくれたり、見ていてとても感心することばかりでした。
今後、井上君のような若者がどのような形で社会に関わっていくのか、大変楽しみです。



インターン生紹介



イノウエ コウスケ
井上 康介 さん
船引高等学校3年／田村市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

イベント時の会場制作や来客対応を主として行いました。また、自らの地元を知ろうという目的で都路や葛尾の方へフィールドワークに行きました。他にも、船引駅から施設までの道順動画を制作し、商店街マップ作りのお手伝いもさせていただきました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

この活動を通して、コミュニケーションの難しさに気づきました。単に質問攻めするのは会話ではないことを知り、相手の様子を見ながら話をするのにとっても苦労しました。またフィールドワークでは、自分が住む所についてあまり理解できていないという問題点がありました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私はこの活動で得た力を実践的な行動に移していきたいと考えています。今後はインターン活動で得た地域課題に関する知識と経験を活かして、地域の方が地元と繋がりを作ることができるイベントや、地域で活躍する企業の活動を見てもらう機会を作りたいと思います。



特定非営利活動法人 わくわく

所在地 西郷村前山西39

URL <http://wakuwaku.kokkara.org/>



主な活動

放課後等デイホーム「わくわく新白河」「わくわく登町」「わくわくSUN」、及び「フリースクールわくわく」を運営している法人です。定期的に「わくわく子ども食堂」も開催しています。

受入れ団体 コメント

今回一名受け入れてみて、現代の学生さんの意欲の高さや福祉に対する真剣さや、もっと深く掘り下げて考えようとする姿に驚きました。

実際に障がいのある子どもたちと関わる中で、自ら積極的に関わる姿が印象的でした。関わる際に疑問点があれば、随時職員に質問をし、疑問点を残さないようにしていたと思いますので、武田さんにとっても充実した時間を過ごせたと思います。

インターンで学んだことを今後も活かしていただけると、幸いです。約一週間のインターン、本当にお疲れ様でした。



インターン生紹介



タケダ ココ
武田 呼々 さん

郡山女子大学附属高等学校2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

子どもたちと触れ合ったり、夏休みの宿題で間違っている所やわからない所の解き方を教えてもう一度一緒に解き直したり、子どもたち以外にも、先生方とお話しをして、子どもたちの個性や性格、お仕事について教えていただくといった活動をしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- 子どもたち一人ひとりに個性があり、それに合わせて指導や対応をすることの難しさ
- 子どもたちと関わる仕事をするることの大変さと楽しさ
- 一人ひとりをよく見て、何かあった時にすぐに対応できる先生のすごさ
- 色々な子どもたちと一緒にいることの大変さ

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回のインターンシップで、様々な障がいや、個性・性格の子一人ひとりに寄り添ってその子に合わせた対応をすることを学びました。今後、子どもたちだけではなく、大人にも一人ひとりに合わせた対応をすることが重要になると思うので、この経験を活かしていきたいです。





特定非営利活動法人 Lotus

所在地 会津若松市大町2-8-14

URL <https://www.lotusjapan.org/>



主な活動 地域の子育て環境の充実を目指し、保育園・屋内遊び場・シェアオフィスと木製ジム、ものづくり体験が行えるカフェを併設したまちの駅を運営しています。

受入れ団体 コメント

今年で2回目の受け入れとなり、受け入れ団体として選んでいただいた学生さんには感謝申し上げます。昨年も参加していただいた学生さんが来てくださり、Lotusの思いやミッションにより、理解を深めている様子が見受けられ、スタッフ一同とても嬉しく思いました。多くの学生さんがNPOという様々な課題解決の為に日々奮闘している団体の活動に、共に参画してくれる様に私たちも励んでまいります。



インターン生紹介



ヨシダ ミキ
吉田 未希 さん

会津学鳳高等学校3年/
宮城県仙台市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計4回のインターン活動で、保育園の補助や夏祭りの準備、そして当日のお手伝いをしました。また、もくれんに来た親子と一緒に遊んだり、施設のおもちゃの消毒や掃除を行ったりしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子どもたちと4日間一緒に関わり、自分は子どもが好きなんだと改めて感じました。木と触れ合う子どもたちの姿を見ると自然の大切さに気づいたり、保育園という場所の良さなどを学べる充実した活動になりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

ものづくりの楽しさを子どもたちに教えられる保育者になりたいという気持ちが強まりました。受験の際は、自分の考えや思いを言葉で伝える場面が多いと思うので、今回経験したことを話せるように文字化してまとめておこうと思います。



特定非営利活動法人 環境地域文化エナジー

所在地 会津若松市中町1-20

URL <https://aizu-teco.space/>



主な活動 平成28年から「移住・定住」の促進に力を入れて取り組んでいます。令和3年度より会津若松市から「会津若松市定住コネクスペース」の施設管理運営を受託し、地域の移住活動の中核として活動しています。

受入れ団体コメント とても積極的に活動していただきました。今回、様々な移住定住関係者の声を聞き他の真似をするのではなく、そこから発展させ自身のアイデアとして落とし込んでいました。

彼女の素敵な笑顔と常に前向きな姿勢が、私たちにもとても良い刺激になりました。

「地元の魅力をもっと知ってもらいたい!」という熱意があり、将来の活躍を期待しております。



インターン生紹介



タキザワ チヨ
滝沢 千代 さん
山形大学3年/金山町出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

福島県移住コーディネーターの役割や、会津若松市地域づくり課で行っている移住支援について学びました。また、実際に会津地域に移住された方々にもお会いして、お話しをお聞きました。そして最終日に、今後行うべき移住支援について考え、発表しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

いろいろな方のお話を聞いて、改めて会津地域は多くの人を惹きつける魅力がある場所なのだと感じました。また、移住支援にあたっては、移住希望者と地域とのマッチングを丁寧に行っていくことが、移住後の定住率や満足度の増加に繋がると考えました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来地元の金山町に帰って、移住支援も含め、金山町や会津地域の活性化に貢献したいと考えています。今回活動を通して移住支援のために大切だと感じたことや、自分自身が必要だと思った支援を、今度は実践する立場になれるよう励んでいきます。



特定非営利活動法人 会津自然塾

所在地 会津美里町高田前川原3476

URL <https://aizu-shizenjuku.jimdofree.com/>



主な活動 有機野菜の宅配事業を始めて20年になります。自ら生産した野菜を加工して、トマトソース、レトルトカレーを作っています。令和5年7月からは土曜日の午後、事務所前でマルシェを開催。その他様々なイベントに出店しています。

受入れ団体コメント 若い琴音さんが、有機農業で地域興しを目指し活動する会津自然塾に興味を持ち参加していただいたこと、なによりとても嬉しかったです。有機農業のみならず農業そのものが危機的状況にある昨今、若い皆さんが持続可能な社会を目指し、環境問題に関心を抱くことはとても大事なことと思います。将来の夢を語る貴方の姿に私たちも大いに勇気づけられました。より良い社会を目指して頑張りましょう！



インターン生紹介



ハセガワ コトネ
長谷川 琴音さん

郡山女子大学附属高等学校3年/
猪苗代町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- 野菜の箱詰め作業
- マルシェ販売
- ホットケーキミックス作り

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

初対面から優しく接してくださり、元気に皆さんが活動していたため、来る人も柔らかい人が多いと感じました。また、環境に左右される野菜を育てることの難しさを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回のインターンシップで学んだことを将来の夢としている小学校教諭になった時に児童に伝え、一緒に野菜を育て、採れたての美味しさを児童に味わってほしいと感じました。また、この活動で身につけたコミュニケーション能力を今後の進学先で活かしたいと思います。





特定非営利活動法人 南相馬サイエンスラボ

所在地 南相馬市原町区東町2-50

URL <http://www.sciencelabo2011.com/>



主な活動 主に親子を対象とした、自然科学、農業食育、環境保護、歴史文化などの地域資源を活用した体験教育活動を行っています。

受入れ団体コメント

今年度、私たちは3人のインターン生を受け入れました。3人ともに今回のインターンを通して、大きく成長したと感じています。それぞれの個性は異なりましたが、私たちNPO法人南相馬サイエンスラボが大切にしている考え方や活動の指針である「幸せをつくる教育」を理解した3人だと思います。今回のインターンシップで学んだことを、これからの人生に活かして頂きたいと願います。この度は誠にありがとうございました。



インターン生紹介



カトウ ノア
加藤 望愛 さん
福島高等学校1年 / 本宮市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

3回のインターンシップ活動で、1・2回目は農業についての勉強会、3回目は夏野菜収穫や大豆株選定、糲摺り体験をさせていただきました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動で農業の大切さを学びました。普段何気なく食べている野菜やお米は、たくさんの時間と農家さんの努力のおかげで得られるのだと気づきました。また、協力し合い、互いにコミュニケーションをとることの重要性も学べたと思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

人との繋がりやコミュニケーションの大切さなど、とても大事なことを高校生のうちに学べて良かったと思います。私はまだ高校1年生なので、今回の体験で培った広い視野を今後の学校生活や進路選択のときに活かしていきたいです。



インターン生紹介



オオワダ アイリ 大和田 愛美 さん

相馬高等学校1年 / 相馬市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

インターンシップの活動を通して、ダッチオープン料理や、畑作業、お米の精米、飯盒を使ったご飯の炊き方など普段なかなか家だと体験できないことが体験でき、自分の知らなかった農作業のことなどを知ることができて、とても貴重な体験をすることができました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

この活動を通して、普段私たちが何気なく食べている食べ物をつくることは、一人で行うのは大変かつ無理であることを実感しました。お金を払うことで農家の方に代わりにしてもらっているので、今後食事をする時は感謝して食べたいと思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

活動中に小さい子と関わる機会があり、メンターの方に「小さい子でも分かる言葉で話すことが大切」と教えていただき、そのためには相手に寄り添い考える事が大切だということに気づきました。これからは相手のことを考え、思いやりの気持ちを持ちたいと思います。

インターン生紹介



テラシマ ホノカ 寺島 帆乃香 さん

相馬高等学校1年 / 新地町出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

親子農業体験の準備、片付け、スタッフのお手伝いをしました。参加された親子の方々と一緒に農業を体験したり、飯盒炊飯をしたり、田植えをしたり、農業や農業以外にも様々なことをしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

普段ただ食べている野菜や肉などは、全て誰かが食べられるようにしてくれているから食べられているということ、自分の仕事は自分で見つけて、スタッフの方に言われる前に自分から行動してみるという社会において大切なことを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

子どもが多いため、子どもに目を向けたり、スタッフの手伝いをスタッフから言われる前に自分で行動したり、想像以上に大変で難しいことでしたが、これができるかできないかという違いはとても大きく、活動する上で身につけたことを社会で活かしていきたいです。



特定非営利活動法人 ツークンフトロカール

所在地 いわき市常磐白鳥町北蟹打33

URL <http://zukunft-lokal.org/>



主な活動 旧好間第三小学校を活動拠点として、子どもたちを対象にスポーツとアート活動、児童クラブを行っています。

受入れ団体コメント 弊団体では、このような事業への参加は初めてであり、多くの学びの機会をいただくことができました。また、機会がありましたら参加したいと思います。



インターン生紹介



ヨシダ ヤマト
吉田 大飛 さん
東北文化学園大学2年 / いわき市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主に子どもたちと遊んだりチャレンジ活動への帯同、夏休みの宿題の指導などをしました。多く子どもたちがいる中で全員が楽しく遊んだり勉強したりする環境作りなどの活動をしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子どもたちと関わる中で言葉使い、様々な個性や趣味、男の子女の子がいる中で関わりなどとても難しいと思いました。子どもたちと遊ぶばかりではなく見回りを定期的に行い、危ないことをしていないかなども重要だと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

将来は子どもたちとも関わりが深い地域に関する職業に就きたいと考えています。今回のインターンシップで「こんな仕事がしたい!」が明確になりました。これからの大学生活や就職活動に活かしたいと思います。



特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター

所在地 いわき市郷ヶ丘1丁目10-7

URL <https://iwakikinsapo.jimdofree.com/>



主な活動 子育てに関する困りごと及び子どもにとって重要な心身の発育・発達ニーズを満たすための地域支援事業を行い、保護者などからの要請を受けて、サポート活動を行っています。

受入れ団体コメント インターン生から率直な意見や感じたことを聴くことができ、改善点や新しい活動のヒントが得られました。学生さんの成長を実感し新鮮な気持ちになり、元気とパワーをもらいました。いつかまた私たちと一緒に楽しく秘めた能力を開花させ、笑顔を輝かせましょう。



インターン生紹介



コンドウ ミリ
近藤 美凜 さん
東日本国際大学3年 / 南会津町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
すくのみ広場の運営、保育研修受講といった活動をしました。すくのみ広場では、子育ての居場所、交流の場として、親子同士、スタッフとの交流を行っています。準備、片付け、交流を行いました。研修では、先生をお招きし、子どもに関する講義を受講しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
広場での活動では、子どもとの関わり方を学びました。好きなこと、興味のあることを観察から知り、そこをきっかけに声をかけてみると、よい関わりができるという気づきがありました。研修では、発達段階に合わせた関わり方、成長に大切なことを学ぶことができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来、児童福祉の分野で、子どもに関わる仕事をしたいと考えています。現場での学びや、研修での基礎知識を活かし、仕事ができればと思っています。子どもと関わる機会は今のところは少ないですが、学んだことを忘れずに、距離感や話し方などを活かしたいです。



インターン生紹介



ミドリカワ カズキ
緑川 和樹 さん
東日本国際大学4年 / 浅川町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
利用者との交流や会話、すくのみ広場の準備、片付け、広場の受付を行いました。おもちゃの消毒や、設置などを行い、子どもが楽しめるように工夫しました。子どもと関わっていき、何をして遊びたいのか聞きながら活動していくことができました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
活動を行うことで、小さい子どもとの関わり方や接し方、話し方を学ぶことができました。気づきとしては、一人ひとり同じおもちゃで遊んでいても、たくさんの工夫によって他の遊びになることを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

活動で得たコミュニケーション能力を今後の生活に活かしていき、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになっていきたいです。また、子どもとの遊び方、話し方を知ることができたので、この経験は今後小さい子どもと遊ぶ時に活かしていきたいです。



一般社団法人 Teco

所在地 いわき市平下平窪山土内町2-21

URL <https://tecojapan.wordpress.com/>



主な活動

誰もが「住んでいて良かった」と心から安心して暮らすことができる町を目指し、いわき市を拠点として幅広い地域間交流や、多様な世代間交流の場づくりを積極的に行っています。

受入れ団体 コメント

水害被災地の交流会や夏祭りスタッフとして参加していただくごとに、表情が穏やかになり積極的な姿を見ることができました。住民さんも若い学生と関わることで刺激になり嬉しかった様でお互いに有意義な時間となりました。インターン期間が終わった後も、コミュニティ食堂に遊びに来てくれたりと、地域の子どもや役員さんとも繋がりができとてもいい関係が築けています。



インターン生紹介



スズキ
鈴木 ヨウ
陽 さん

東日本国際大学1年 / いわき市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主にいわき市の平窪地区を中心に、夏祭りや流しそうめん交流会、ご年配の方同士のサロンイベントなど、幅広い世代の方々が集まり、楽しいひとときを過ごす催しの運営のサポート、そして時には参加者の方々と一緒に交流を楽しむこともありました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

地域のご近所さん同士が交流し、人間関係を広げていくことは、お互いが助け合い、充実した日常生活を送っていく上で、とても大切であることに気づきました。今回の活動で、地元を活気づける様々なイベントを開催しているTecoさんを知れてよかったです。

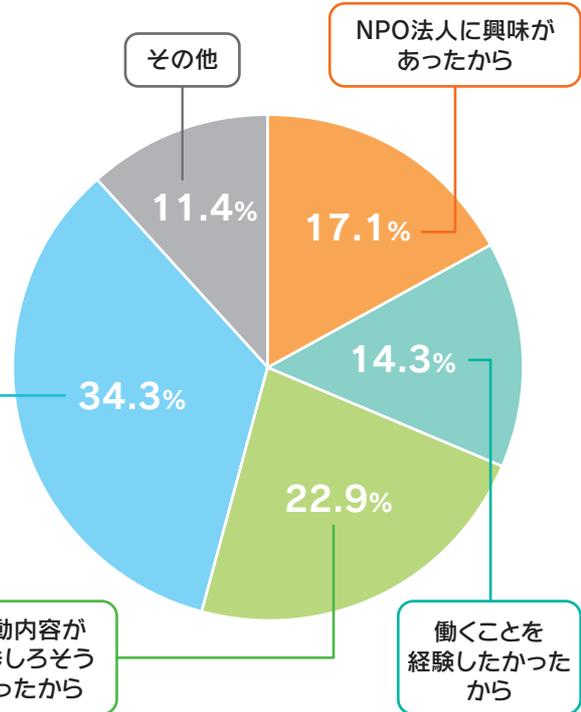
Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は元々地元のいわき市の民間企業に就職するのが将来の目標でしたが、今回の活動で地元住民の方の充実した生活作りのお手伝いをしてみて、地元に貢献したいという思いがより強くなりました。もらった笑顔や感謝を思い出し、将来に繋げていきたいです。

インターン生アンケート

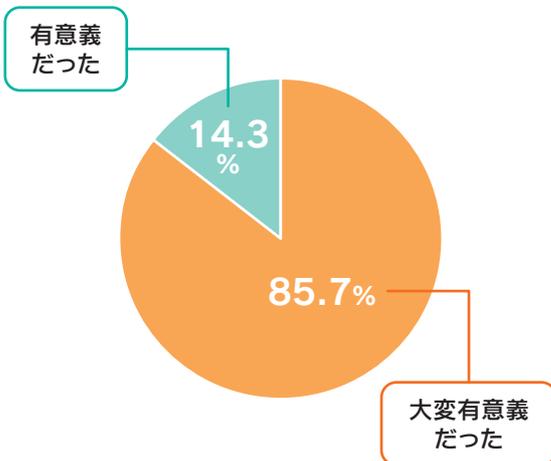
Q1

チャレンジインターンシップ事業への参加を決めた一番の理由は何ですか？



Q2

活動してみてどのように感じましたか？



- 子どもたちと関わることは大学生になると全くと言っていいほどありませんでした。その中でインターンシップを通して子どもたちと関わることで非常に将来を考える良い機会になりました。
- もともと興味があったこども食堂について詳しく知れ、貴重な経験ができた。

- NPOの意義を学ぶことができ、また活動中さまざまな年代の方と交流したことで、コミュニケーション能力が向上した。
- 普段体験できないことを体験し、沢山のことを学ぶことができた。
- インターンシップ先でお世話になった方々が、とても親切で、分かりやすく内容を教えていただき、充実した期間でした。
- どのくらい大変なのかなど色々学ぶことができた。
- 将来役立つことを沢山学べた。
- 学生という立場を活かして様々な経験をさせていただけだ。
- 福島県の移住支援について多くのことを学べた。また実際に地域に移住されたみなさんともお話することができ、地域の魅力に改めて気づくことができた。
- NPO法人について深く知ることができました。



Q3

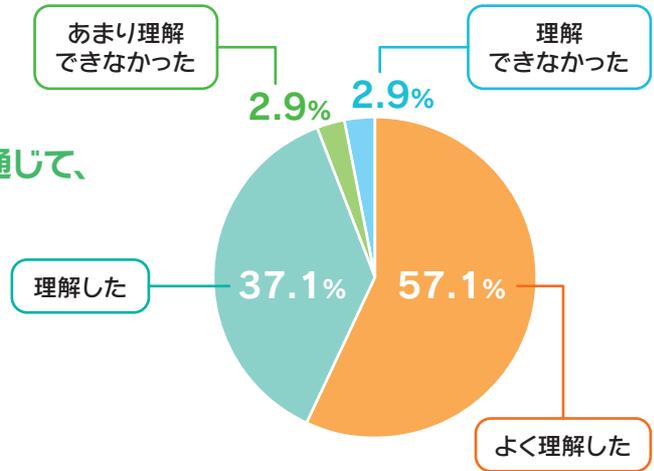
NPO団体で活動した経験で今後(学生生活、就職活動等)に活かせることはありましたか？

- 大学の授業の中で今後、大学が運営する幼稚園との交流会などがあります。その中でインターンシップで培った子どもたちと関わる地力が発揮されると思います。
- 普通の企業とは違うNPO法人ならではの方向性を学べた。
- 初めて会う方ばかりの中で協力して活動することが学校生活や将来にも活かせると思った。
- 将来の夢は地元の企業に就職することなので、地元への理解と貢献したい気持ちが深まったという意味では、就職活動へのモチベーションの向上に繋がったと感じていた。
- 将来栄養士として働きたいと考えていて、食育について学ぶことができた。
- 活動内容や制度の仕組みなど知識が増えたため。
- 進学先で復興に関する学びをしたいと思っているので、活かせると思います。
- 挨拶の仕方やお客様の対応の仕方などいろいろと教えていただいた。
- 知らないことをたくさん学ぶことができた。
- 理論だけではなく、移住支援や移住者についての実情を知ることができた。
- 働く現場を見ることができました。
- 地域のことを深く知ることで、これから地域に関わる仕事をするときにその知識を活かせると思いました。



Q4

チャレンジインターンシップ事業を通じて、NPOへの理解は深まりましたか？

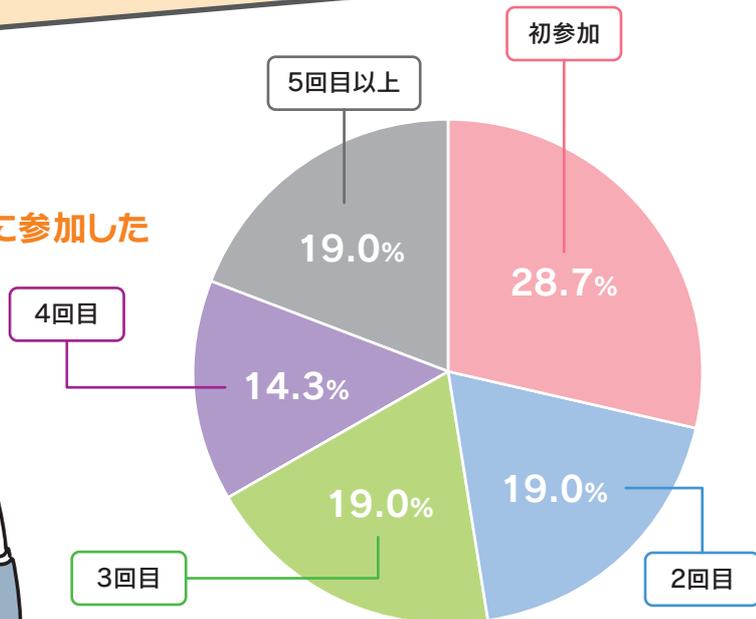
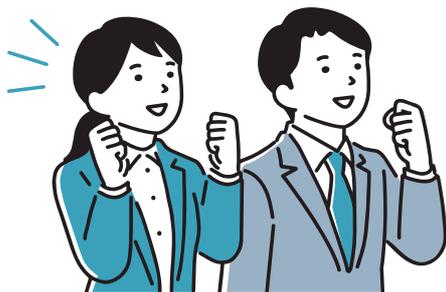


- NPOの仕組みや団体の思いについて理解できた。
- NPOでは様々な活動を行っているということを知ることができた。
- 誰かを幸せにするという役目を果たしているのがNPOなのかと思う。
- 開講式でNPO法人そのものについて学ぶことができたり、福島県内には様々なジャンルのNPO法人があることを知ることができた。
- 実際に働いたり団体の方からお話を聞くことができた。
- お金を稼ぐというだけが目的ではなく、地域や人々主体に考えて行動していることを学んだ。
- 活動を通してNPOのことがよくわかった。
- NPO法人に興味が出た。
- NPOというものは何かを身をもって経験できた。
- インターンシップ先でスタッフのかたがどのような活動をしているのか、またどのようなことが目的なのかをしっかりと説明してくれた。

受入れ団体アンケート

Q1

チャレンジインターンシップに参加した回数を教えてください。



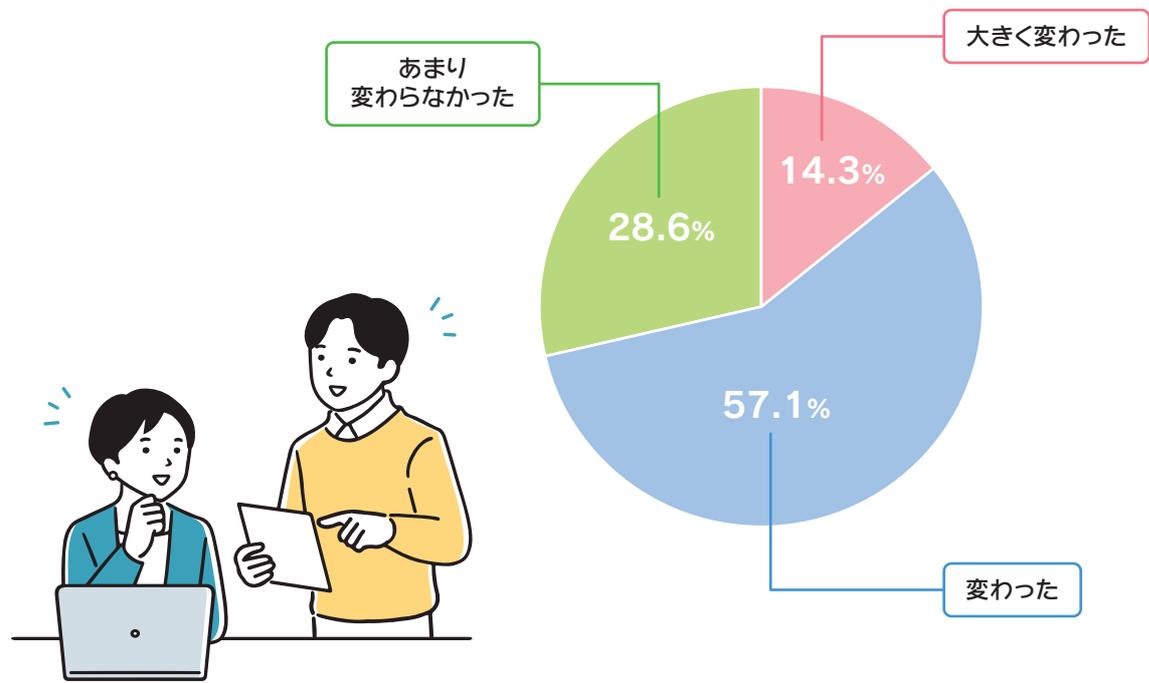
Q2

参加を決めた理由を記入してください。

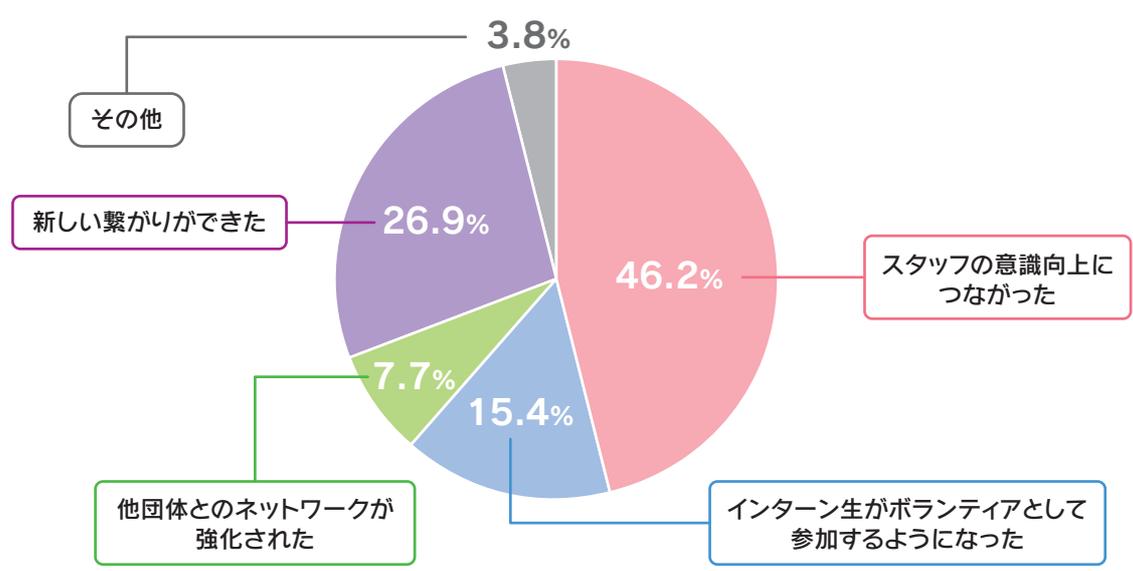
- インターンを受け入れることがお互いに役に立つと考えているから。
- 昨年はインターンシップ活動に参加しなかったため、今年は参加してみようと思った。
- 多くの学生さんにNPOの活動を知ってほしいため。
- 高校生・大学生と関わることで当団体としても気づきや新たな視点をいただくことができる!
- 学生を受け入れることで、団体内の空気に少しでも変化があることを期待した。
- 学生にNPOについて知ってもらう機会だから。
- 若い世代に移住定住支援を知ってほしいと思ったため。
- 若者の機会創出のため。
- 学生の応援になれると思ったから。
- 多様な人とのつながり作り、若い人の意見を取り入れるため。
- インターン活動を通して、当事業所について知っていただく機会になる事や、若い方とのつながりを持つため。
- 子どもたちに年の近い世代との交流をさせたいと思ったから。若者に子どもとの関わりの体験をしてほしいと思ったから。スタッフが若者を知る機会を持ちたいと思ったから。
- 様々な繋がりや学びがあるのではと思ったから。
- 若者世代に広く、社会課題を知ってもらうきっかけにつながり、一緒に活動していく仲間を増やしていけたらと思い応募いたしました。
- 学生の現状や、今の福祉の現場を知ってほしいため。
- 育成事業は当団体の定款にもあるように当団体の目的のひとつだから。
- 学生さんに地元のNPO団体の活動を知っていただきたい。
- 若者の成長を応援すると同時に団体としても成長したい。
- 地域貢献の一環としてとらえたため。



Q3 インターン生の受け入れをしてみて、何か変化はありましたか？



Q4 Q3で「大きく変わった」または「変わった」を選択した主な理由は何ですか？



NPO × 若者 = 創る!!

これまでのチャレンジインターンシップ事業の活動の様子は
こちらからご覧いただけます

<https://f-intern.f-saposen.jp>



令和5年度
「チャレンジインターンシップ事業」
事業報告書

令和6年3月1日発行

発行 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 本庁舎5階
電話 024-521-7179 FAX 024-521-5677

運営受託 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
事務局 ふくしま地域活動団体サポートセンター
〒960-8043 福島県福島市中町8-2 福島県自治会館7階
電話 024-521-7333 FAX 024-523-2741

